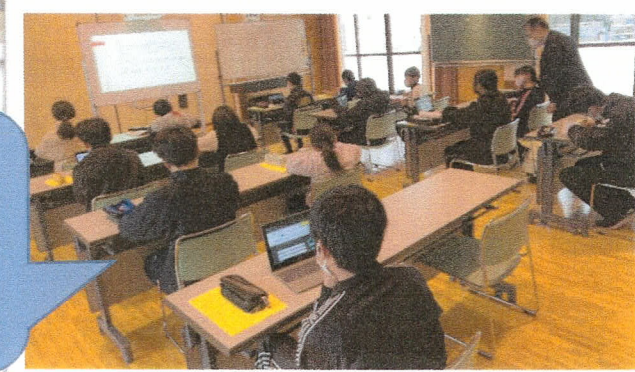
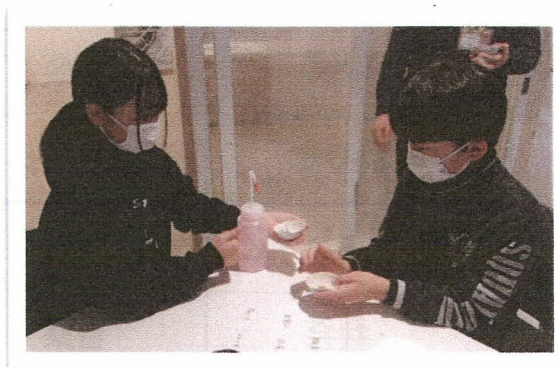


火山灰の中には・・・？

火曜日に三岳にある、おんたけビジターセンターへ火山のことを学びに行きました。6年生は理科「土地のつくりと変化」の単元で、地層の仕組みやでき方などを学習しました。そこで火山灰の中身を観察するところがあり、今回は5年生も一緒に観察をすることができました。

最初に火山の仕組みや噴火の仕方についての説明を聞きました。「開田高原が真っ直ぐなのは御嶽山が崩れたときの、土砂が溜まっているから」「木曾川泥流が流れて真っ直ぐな道ができたから中山道が通れるようになった」など、ここでしか聞けない話もたくさん聞くことができました。次に火山灰の観察をすると、火山灰の塊を水で何回も揉み洗いし、砂だけの状態にすると、プレートに乗せ、水をホットプレートで蒸発させました。顕微鏡を使ってのぞいてみると、様々な色の鉱物が見ることができました。鉱物を見た瞬間にどの子も「おおー！」と歓声を上げて、竹串を使って砂をつつきながら資料と照らし合わせ、様々な種類の鉱物を見つけていました。その日の日記には、「せっかく御嶽山のことをよく知ったので御嶽山に登ってみたい」と書いてある子が何人かいました。開田に住んでいるからこそ、活火山である御嶽山のことをよく知っておくといいですね！



朝のユニットの時間には、多目的室に集まり、自分の為になる学習を自分で考え取り組みました。ハングル語、漢字テストに向けて、中学の数学の予習など、様々な取り組みが見られました！